第１号議案　　令和６年度　事業報告の件

令和 6 年度の各部の事業について以下のとおり実施したことを報告する

企　画　部

１．諸会議の運営事務

(1) 総会		令和 6 年　5 月 25 日(土)	大妻女子大学講義室
(2) 法人理事会	第 1 回	令和 6 年　5 月 11 日(土)	大妻女子大学研修室
	第 2 回	令和 6 年　5 月 25 日(土)	大妻女子大学研修室
	第 3 回	令和 6 年 11 月 16 日(土)	大妻女子大学研修室
	第 4 回	令和 7 年　2 月 21 日(金)	大妻女子大学研修室
(3) 運営委員会	第 1 回	令和 6 年　5 月 25 日(土)	大妻女子大学研修室
	第 2 回	令和 6 年 11 月 30 日(金)	リモートによる開催
(4) 支部理事会	第 1 回	令和 6 年　5 月 25 日(土)	大妻女子大学講義室
	第 2 回	令和 6 年　8 月　1 日(木)	愛知・名古屋市
	第 3 回	令和 7 年　2 月 22 日(土)	リモートによる開催
(5) 研究会	第 1 回	令和 6 年　5 月 25 日(土)	大妻女子大学講義室
	第 2 回	令和 7 年　2 月 22 日(土)	リモートによる開催
(6) 事務局会・部長会			
	事務局会	令和 6 年　4 月 16 日(火)	大妻女子大学研修室
		令和 6 年　5 月 14 日(火)	大妻女子大学研修室
	部長会	令和 6 年　6 月 11 日(火)	事務局
	事務局会	令和 6 年　7 月　9 日(火)	大妻女子大学研修室
		令和 6 年　9 月 10 日(火)	大妻女子大学研修室
	部長会	令和 6 年 10 月　8 日(火)	事務局
	事務局会	令和 6 年 11 月 12 日(火)	大妻女子大学研修室
		令和 6 年 12 月 10 日(火)	大妻女子大学研修室
	部長会	令和 7 年　1 月 14 日(火)	事務局
	事務局会	令和 7 年　2 月　4 日(火)	大妻女子大学研修室
	部長会	令和 7 年　3 月 11 日(火)	事務局

２．研究大会・地域活性事業・地域応援事業・オンデマンド研修等

(1) 第 72 回全国幼児教育研究大会愛知大会　（ハイブリッド開催）

期日：令和 6 年 8 月 1 日（木）・ 2 日（金）

会場：全体会　岡谷鋼機名古屋公会堂

分科会　名古屋国際会議場

(2) 地域活性事業

出前講演会 IN 沖縄

期日：令和 6 年 11 月 9 日（土）

会場：沖縄県島尻郡与那原町　沖縄女子短期大学

講演：「小さな気付きを理解と対応に変える－発達特性を知る－」

講師：聖マリアンナ医科大学　教授　大学病院精神科　医長

公益社団法人 全国幼児教育研究協会　理事　　小野　和哉　氏

(3) 地域応援事業

期日：令和 6 年 8 月 16 日(金)

場所：秋田県秋田市　にぎわい交流館 AU 多目的ホール

講演：「人形は語る！子どもの目・おとなの目」

講師：人形劇団クスクス

YouTube 配信：令和 6 年 10 月 11 日(金)～10 月 22 日(火)　全幼研ホームページより

(4) 実技研修会・オンデマンド研修

期日：令和 7 年 1 月 18 日(土) 13：30～16：30

場所：横浜市都筑区　劇団かかし座

実技研修：ワークショップ「手影絵の基本や影絵人形の作り方を学ぼう！」

講師：劇団かかし座　　飯田　周一　氏　　松本　仁美　氏

オンデマンド配信：令和 7 年 2 月 22 日(土)～3 月 31 日(月) 全幼研ホームページより

３．研究助成制度

(1) 研究奨励…研究奨励金：10 万円

助成件数：1 件

○申請者：大阪公立大学　准教授　吉田　直哉 （大阪）

研究テーマ：「保育実践の前提となる『子ども理解』の方法論の子ども観・技法のチャート化」

(2) 研究助成…研究助成金：5 万円

助成件数：2 件

○申請者：目白大学人間学部子ども学科　助教　伊藤　貴大 （東京）

研究テーマ：「地域型保育事業を対象にインクルーシブ保育の現状に関する調査研究」

○申請者：三木市立三樹幼稚園　園長　井原　幸代 （兵庫）

研究テーマ：「子どもたちの感性・主体性・集団性の育ちをめざして
－わくわくするような直接体験の積み重ねを通して－」

４．諸事業の企画・検討

(1) 地域活性事業・地域応援事業の実施に向けての募集、企画、運営等

(2) 全幼研ワクワクプロジェクト研修会

2 支部（香川・三重）において実施

(3) 幼稚園教諭等の処遇改善等加算Ⅱに係る研修

都道府県の教育委員会より認定された研修団体に受講証明書発行

令和 6 年度…14 支部（北海道・秋田・茨城・神奈川・静岡・愛知・京都・大阪・兵庫・奈良・徳島・香川・佐賀・熊本）

(4) 倫理審査委員会…研究助成に関する調査

(5) 総会、支部理事会、その他、諸事業の運営補助、資料の作成等

研　修　部

１．第 72 回全国幼児教育研究大会愛知大会

(1) 期　日　令和 6 年 8 月 1 日（木）・ 2 日（金）

(2) 開催地　愛知県名古屋市

(3) 内　容　ハイブリッド開催

ア. 大会主題　「一人一人のウェルビーイングを求めて－子どもの育ちを未来につなげる－」

イ．施設公開・保育公開園

Ａ愛知教育大学附属幼稚園　　Ｄ名古屋市立第三幼稚園

Ｂ名古屋市立第一幼稚園　　Ｅ名古屋文化幼稚園

Ｃ名古屋市立第二幼稚園　　Ｆ学校法人熊澤学園幼保連携型認定こども園若松幼稚園

ウ．全体会　〇講話：「幼児教育の現状と課題」

講師：文部科学省初等中等教育局幼児教育課　課長補佐　佐藤　尚子　氏

〇講演：「動物園で生物多様性を考える」

講師：名古屋市東山動物園　　教育普及等担当課長　白木　康雄　氏

エ．分科会　第 1 分科会　子どもにとっての遊びを考える

講師：玉川大学　　教授　田澤　里喜　氏

第 2 分科会　主体性を育む魅力的な環境づくり

講師：和洋女子大学　　助教　田島　大輔　氏

第 3 分科会　乳幼児期の学びを未来につなげる

講師：高知学園大学・高知学園短期大学　　学長　山下　文一　氏

第 4 分科会　一人一人のよさが発揮される学級経営(ハイブリッド)

講師：文部科学省初等中等教育局　　視学官　横山真貴子　氏

第 5 分科会　教職員が生き生きとした魅力あるチームづくり

講師：名古屋学芸大学　　教授　津金美智子　氏

第 6 分科会　ワークショップ「親子で作って遊ぼう」

講師：レゴランド®・ジャパン　ワークショップファシリテーター

(4) 参加費　　会　員　6,000 円　　会員外　12,000 円　　学生会員　1,000 円

(5) 参加者数　605 名

２．研究会

第 1 回　期日：令和 6 年 5 月 25 日(土)

講演：「幼児教育の現状と課題」

講師：文部科学省初等中等教育局幼児教育課　　課長　前田　幸宣　氏

第 2 回　期日：令和 7 年 2 月 22 日(土)　リモート開催

講演：「こども家庭庁の政策－こどもまんなか社会の実現に向けて－」

講師：こども家庭庁成育局成育基盤企画課　　教育・保育専門官　馬場耕一郎　氏

３．テーマ検討委員会

研究大会の研究主題・分科会テーマ・内容、協議の観点、司会・提案支部一覧などについて検討し、役員部長会・事務局会に提案

(1) 令和 7 年度　第 73 回全国幼児教育研究大会滋賀大会

(2) その他、今後の研究大会開催に向けた推進について

調 査 研 究 部

1．出版物の作成

「事例で見る多文化共生保育　外国人幼児等の受入れと保護者支援（仮)」の作成
3 年間の委託研究を活かして、外国人幼児等の受入れのある現場で活用できる資料の作成
2025 年 7 月　チャイルド本社より発行予定

2．調査研究の推進

令和 6 年度文部科学省委託研究の推進
「幼児教育の学び強化事業」
調査研究テーマ：「教育課題に関する調査研究」
調査研究課題：「園と共に歩む幼児教育アドバイザーのための研修動画の作成」
・幼児教育アドバイザーの資質向上と各幼児教育施設への支援の充実を目的として、訪問支援や保育観察後の協議の進め方など具体的な支援の方法に関する研修動画を作成

3．研究紀要 73 号の企画・編集・発行

3,500 部発行　第 72 回全国幼児教育研究大会愛知大会で配布
(1) 調査研究報告　（令和 5 年度文部科学省委託研究の成果物より要約）
「幼児教育施設の機能を生かした幼児の学び強化事業」
調査研究テーマ：「教育課題に関する調査研究」
調査研究課題：「幼児教育アドバイザーの役割と研修の在り方
－資質・能力の向上を目指す研修プログラムの作成に向けて－」
・本研究では、幼児教育アドバイザーの配置や職務内容等は各自治体の幼児教育の実態によって異なり、幼児教育施設への訪問支援を継続的に行うことが難しい現状や幼児教育アドバイザー自身がどのように幼児教育施設を支援していけばよいか戸惑っている現状、支援される側の各園の期待や要請に必ずしも応じきれていない現状がある。その現状や課題を明確にしながら幼児教育アドバイザーに求められている役割と研修の在り方について深める。
・幼児教育アドバイザーの育成に関するリーフレットの作成
「園と共に歩む幼児教育アドバイザーを目指して－よさや可能性に気付く風を吹かせよう！－」
(2) 寄稿　・「文献資料の幼稚園建築研究への利用からみる全国幼児教育研究協会の役割と意義」
伊藤　音々　氏
・「東京都　港区立麻布幼稚園　研究報告書より」
・「令和 5 年度　全幼研ワクワクプロジェクト研修会　報告」
群馬支部・香川支部・秋田支部・兵庫支部①②・滋賀支部
(3) 支部研究情報　各支部の研究テーマ等の集約

広　報　部

1．「若竹」87 号発行

(1) 発行時期　令和 6 年 8 月
(2) 部　　数　Ａ４版カラー　4,000 部
(3) 配　　布　・第 72 回全国幼児教育研究大会愛知大会で配布。大会不参加の会員、その他の関係者には本部事務局より各支部長宛に送付後、会員・関係者に配布

(4) 内　　容　・論説　「ウェルビーイングに生きる子供を育てるために」
執筆者　EVOL 株式会社　代表取締役　CEO
慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属
システムデザイン・マネジメント研究所研究員　前野マドカ　氏
・ズームイン　令和 6 年度総会・研究会報告
名誉会員ご挨拶　新理事ご挨拶
講演　「幼児教育の現状と課題」
講師　文部科学省初等中等教育局幼児教育課
課長　前田　幸宣　氏
・遊びのヒントあれこれ　「日本最南端の風土で育つ子どもたち」
沖縄　社会福祉法人沖縄県社会福祉事業団にしのもり保育園
・大会予告　第 73 回全国幼児教育研究大会滋賀大会
・地域活性事業予告　沖縄支部「小さな気付きを理解と対応に変える
－発達特性を知る－」
・地域応援事業予告　秋田支部「人形は語る！子どもの目・おとなの目」

2．「若竹」88 号発行

(1) 発行時期　令和 7 年 2 月
(2) 部　　数　Ａ４版カラー　3,600 部
(3) 配　　布　支部長・支部理事・支部理事会参加者に、資料と一緒に郵送。会員、関係者には本部事務局より各支部長に送付し、会員・関係者に配布
(4) 内　　容　・論説　「レジリエンスを育む」
執筆者　　東京学芸大学 教職大学院　教授　藤野　博　氏
・大会報告　　第 72 回全国幼児教育研究大会愛知大会
・地域活性事業報告　「出前講演会 IN 沖縄」
・支部だより　関東甲信越地区　群馬支部
・大会予告　　第 73 回全国幼児教育研究大会滋賀大会

3．ホームページについて

広報部内の ICT チームを中心に、全幼研ホームページをリニューアルした。全幼研の活動や成果物等、分かりやすく活用しやすい情報発信を目指した。

第２号議案　　令和６年度　収支決算報告・監査報告の件

定款第 39 条に基づき、令和 6 年度収支決算について以下のとおり報告する

貸借対照表

令和 7年　3月 31日 現在

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,599,740	8,241,672	△ 641,932
未収金	4,878,820	3,603,461	1,275,359
仮払金	0	0	0
流動資産合計	12,478,560	11,845,133	633,427
2. 固定資産			
(1)基本財産			
普通預金（基）	0	0	0
定期預金（基）	19,000,000	19,000,000	0
定額貯金（基）	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	24,000,000	24,000,000	0
(2)特定資産			
周年事業引当資産（特）	800,000	600,000	200,000
特定資産合計	800,000	600,000	200,000
(3)その他固定資産			
什器備品	279,838	170,408	109,430
保証金	800,000	800,000	0
その他固定資産合計	1,079,838	970,408	109,430
固定資産合計	25,879,838	25,570,408	309,430
資産合計	38,358,398	37,415,541	942,857
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
預り金	35,364	29,660	5,704
仮受金	0	0	0
流動負債合計	35,364	29,660	5,704
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	35,364	29,660	5,704
Ⅲ　正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	19,000,000	19,000,000	0
指定正味財産合計	19,000,000	19,000,000	0
（うち基本財産への充当額）	(19,000,000)	(19,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	19,323,034	18,385,881	937,153
（うち基本財産への充当額）	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(800,000)	(600,000)	(200,000)
正味財産合計	38,323,034	37,385,881	937,153
負債及び正味財産合計	38,358,398	37,415,541	942,857

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

科　　目	当年度	前年度	増減 （A－B）
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	820	281	539
②特定資産運用益	0	0	0
③受取会費	11,270,000	11,550,000	△ 280,000
④事業収益	9,827,250	10,743,016	△ 915,766
⑤受取寄附金	5,006,000	5,006,000	0
⑥雑収益	173,142	129	173,013
経常収益計	26,277,212	27,299,426	△ 1,022,214
(2)経常費用			0
①事業費	20,012,708	20,123,169	△ 110,461
給料手当	2,494,960	2,996,770	△ 501,810
臨時雇賃金	0	110,000	△ 110,000
法定福利費	332,856	206,236	126,620
旅費交通費	1,386,092	1,731,416	△ 345,324
通信運搬費	1,990,832	1,821,921	168,911
減価償却費	131,287	110,762	20,525
消耗品費	2,229,869	2,473,536	△ 243,667
修繕費	0	0	0
印刷製本費	2,385,210	2,172,627	212,583
光熱水料費	118,408	120,631	△ 2,223
会議費	103,783	330,236	△ 226,453
賃借料	5,860,277	5,265,027	595,250
渉外費	497,369	530,568	△ 33,199
諸謝金	1,037,959	979,656	58,303
支払手数料	919,366	873,783	45,583
支払助成金	524,440	400,000	124,440
雑費	0	0	0
②管理費	5,327,351	5,031,252	296,099
役員報酬	860,000	560,000	300,000
給料手当	1,343,440	1,613,644	△ 270,204

法定福利費	179,230	111,050	68,180
会議費	173,422	166,952	6,470
旅費交通費	450,882	436,028	14,854
通信運搬費	810,269	683,869	126,400
減価償却費	70,693	59,641	11,052
消耗品費	193,306	204,496	△ 11,190
修繕費	0	0	0
印刷製本費	6,764	53,741	△ 46,977
光熱水料費	63,757	64,954	△ 1,197
賃借料	683,887	612,612	71,275
渉外費	3,276	1,890	1,386
諸謝金	0	0	0
支払手数料	488,425	462,375	26,050
雑費	0	0	0
経常費用計	25,340,059	25,154,421	185,638
評価損益等調整前当期経常増減額	937,153	2,145,005	△ 1,207,852
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	937,153	2,145,005	△ 1,207,852
2. 経常外増減の部			0
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	937,153	2,145,005	△ 1,207,852
一般正味財産期首残高	18,385,881	16,240,876	2,145,005
一般正味財産期末残高	19,323,034	18,385,881	937,153
Ⅱ 指定正味財産増減の部			0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	19,000,000	19,000,000	0
指定正味財産期末残高	19,000,000	19,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	38,323,034	37,385,881	937,153

財務諸表に対する注記

１．重要な会計方針

（１）固定資産の減価償却の方法
平成１９年３月３１日以前に取得したものについては旧定率法、平成１９年４月１日以後に取得したものについては定率法によっている。

（２）消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式によっている。

２．会計方針の変更
該当なし。

３．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金（基）	19,000,000	0	0	19,000,000
定額貯金（基）	5,000,000	0	0	5,000,000
小　　計	24,000,000	0	0	24,000,000
特定資産				
周年事業引当資産（特）	600,000	200,000	0	800,000
小　　計	600,000	200,000	0	800,000
合　　計	24,600,000	200,000	0	24,800,000

４．基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
定期預金（基）	19,000,000	14,000,000	5,000,000	―
定額貯金（基）	5,000,000	5,000,000	0	―
小　　計	24,000,000	19,000,000	5,000,000	―
特定資産				
周年事業引当資産（特）	800,000	0	800,000	0
小　　計	800,000	0	800,000	0
合　　計	24,800,000	19,000,000	5,800,000	0

５．担保に供している資産
該当なし。

６．固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,279,949	1,000,111	279,838

７．保証債務等の偶発債務
該当なし。

８．関連当事者との取引の内容
該当なし。

９．重要な後発事象
該当なし。

附　属　明　細　書

1．重要な固定資産の明細

（単位：円）

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金（基）等	24,000,000	0	0	24,000,000
	基本財産計	24,000,000	0	0	24,000,000
特定資産	周年事業引当資産（特）	600,000	200,000	0	800,000
	特定資産計	600,000	200,000	0	800,000
その他固定資産	什器備品	170,408	311,410	201,980	279,838
	その他固定資産計	170,408	311,410	201,980	279,838

財　産　目　録

令和　7年　3月 31日 現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	現金	手元保管	運転資金として	31,475
	普通預金	みずほ銀行　虎ノ門支店	運転資金として	6,590,846
	通常貯金	ゆうちょ銀行	運転資金として	819,000
	定期預金	みずほ銀行　虎ノ門支店	運転資金として	158,419
	未収金	文部科学省	委託事業未収金	4,878,820
流動資産合計				12,478,560
（固定資産）				
基本財産				
	定期預金（基）	みずほ銀行　虎ノ門支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	19,000,000
	定額貯金（基）	ゆうちょ銀行	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	5,000,000
特定資産				
	周年事業引当資産（特）	みずほ銀行　虎ノ門支店	周年事業のための特定費用準備資金として毎年定額を積み立てている。	800,000
その他固定資産				
	什器備品	事務局PC5台		279,838
	保証金	事務所保証金		800,000
固定資産合計				25,879,838
資産合計				38,358,398
（流動負債）				
	預り金	役員・従業員に対するもの	源泉所得税	35,364
流動負債合計				35,364
固定負債合計				0
負債合計				35,364
正味財産				38,323,034

監　査　報　告　書

令和 7 年 4 月 18 日

公益社団法人
全国幼児教育研究協会
理事長　福井直美　殿

公益社団法人全国幼児教育研究協会

監事　小野賢二　印

監事　中戸川誠　印

私たちは、令和６年４月１日から令和７年３月31日までの令和６年度における会計及び業務の監査を行ったので、次のとおり報告致します。

1.　監査方法の概要

1）会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。

2）業務監査について、理事等から業務の報告を聴取するとともに、事業報告書並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2.　監査意見

1）貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び附属明細書は、会計帳簿金額と一致し、法人の収支状況及び財産状況を正しく示していると認める。

2）事業報告書の内容は真実であると認める。

3）理事の職務執行に関する不正な行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

第３号議案　　令和７年度　事業計画の件

令和７年度の各部の事業について以下のとおり実施する

企　画　部

１．諸会議の運営事務

(1) 総会		令和７年　５月 24 日(土)	大妻女子大学講義室
(2) 法人理事会	第１回	令和７年　５月　９日(金)	大妻女子大学研修室
	第２回	令和７年 11 月 15 日(土)	大妻女子大学研修室
	第３回	令和８年　２月 20 日(金)	大妻女子大学研修室
(3) 運営委員会	第１回	令和７年　５月 24 日(土)	大妻女子大学研修室
	第２回	令和７年 11 月 29 日(土)	リモートまたは書面
(4) 支部理事会	第１回	令和７年　５月 24 日(土)	大妻女子大学講義室
	第２回	令和７年　７月 28 日(木)	滋賀・大津市
	第３回	令和８年　２月 21 日(土)	リモートによる開催
(5) 研究会	第１回	令和７年　５月 24 日(土)	大妻女子大学講義室
	第２回	令和８年　２月 21 日(土)	リモートによる開催
(6) 事務局会・部長会			
	事務局会	令和７年　４月 15 日(火)	大妻女子大学研修室
		令和７年　５月 13 日(火)	大妻女子大学研修室
	部長会	令和７年　６月 10 日(火)	事務局
	事務局会	令和７年　７月　８日(火)	大妻女子大学研修室
		令和７年　９月　９日(火)	大妻女子大学研修室
	部長会	令和７年 10 月　７日(火)	事務局
	事務局会	令和７年 11 月 11 日(火)	大妻女子大学研修室
		令和７年 12 月　９日(火)	大妻女子大学研修室
	部長会	令和８年　１月 13 日(火)	事務局
	事務局会	令和８年　２月 10 日(火)	大妻女子大学研修室
	部長会	令和８年　３月 10 日(火)	事務局

２．研究大会・地域活性事業・オンライン研修会・地域応援事業

(1) 第 73 回全国幼児教育研究大会滋賀大会

期日：令和７年７月 28 日（月）・29 日（火）

会場：全体会　びわ湖ホール

分科会　ピアザ淡海・生涯学習センター・大津市ふれあいプラザ

(2) 地域活性事業

出前講演会 IN 佐賀

期日：令和７年 11 月 22 日（土）

会場：佐賀県佐賀市　藤影幼稚園

講師：聖マリアンナ医科大学　　教授　小野　和哉　氏

(3) 地域応援事業

期日：令和７年８月 23 日(土)

会場：群馬県前橋市　群馬県公社総合ビル・ホール

講演：「子どもがワクワク、保育者がワクワク、保護者がワクワクの保育へ」
講師：玉川大学　　教授　大豆生田　啓友　氏

(4) オンライン研修会
期日・会場・内容：未定
※詳細が決まり次第、ホームページや支部長を通して周知予定

３．研究助成制度

幼児教育の振興と充実を図ることを目的に、本会の理念をご理解いただいた幼児教育関係、個人・団体で、幼児教育に関する研究に対し、審査の上研究助成を行う。

(1) 研究奨励
研究奨励金：10 万円
助成件数：1 件
期　　間：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月
募　　集：令和 7 年 4 月～令和 7 年 5 月末
報　　告：令和 8 年度研究紀要 75 号にて報告

(2) 研究助成
研究助成金：5 万円
助成件数：2 件
期　　間：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月
募　　集：令和 7 年 4 月～令和 7 年 5 月末
報　　告：Ａ４用紙 2 枚程度の報告書提出

４．諸事業の企画・検討

(1) 全幼研ワクワクプロジェクト研修会
・希望する 8 支部において実施（先着順）

(2) 幼稚園教諭等の処遇改善等加算Ⅱに係る研修
・都道府県の教育委員会より研修団体として認定を受けた支部に「研修受講証明書」を発行

(3) 倫理審査委員会…研究助成に関する審査・他

(4) 総会、支部理事会、その他、諸事業の運営補助、資料の作成等

研　修　部

１．第 73 回全国幼児教育研究大会滋賀大会

(1) 期　日　令和 7 年 7 月 28 日（月）・29 日（火）

(2) 開催地　滋賀県大津市

(3) 内　容
ア．大会主題「一人一人のレジリエンスを育むために
－乳幼児期に必要な体験を考える－」
イ．施設公開・保育公開園
Ａ社会福祉法人唐橋福祉会 保育所型認定こども園 大津あいあい保育園
Ｂ学校法人純美禮学園 滋賀短期大学附属幼稚園
Ｃ滋賀大学教育学部附属幼稚園
Ｄ大津市立晴嵐幼稚園

Ｅ大津市立膳所幼稚園
Ｆ大津市立坂本幼稚園

ウ．全体会　講話：「幼児教育の現状と課題」
講師：文部科学省初等中等教育局幼児教育課　課長　前田　幸宣　氏
講演：「目に見えないものを尊ぶ心」
講師：大本山石山寺　座主　鷲尾　龍華　師

エ．分科会　第１分科会　遊びを豊かにする環境づくり
第２分科会　学びをつなぐ幼保小の連携
第３分科会　多様性を認め合い、一人一人を生かす学級経営
第４分科会　地域と共に歩む園の在り方について
第５分科会　教職員が生き生きとした魅力あるチームづくりＰＡＲＴⅡ
第６分科会　ワークショップ「親子で大津絵に触れよう
－地域の文化を生かして－」

(4) 参加費　会　員　6,000円　会員外　12,000円　学生会員　1,000円
(5) 申し込み受付人数　1,000名

２．研究会

第１回　期日：令和７年５月24日(土)
講演：「幼児教育の現状と課題」
講師：文部科学省初等中等教育局幼児教育課　課長　前田　幸宣　氏
第２回　期日：令和８年２月21日(土)
講演：未定
講師：未定

３．テーマ検討委員会

研究大会の研究主題・分科会テーマ・内容、協議の観点、司会・提案支部一覧などについて検討し、役員部長会・事務局会に提案
(1) 令和８年度　第74回全国幼児教育研究大会群馬大会
(2) その他、今後の研究大会開催に向けた推進について

調 査 研 究 部

１．出版物の発行

「事例でみる 外国人幼児等と保護者を支える保育」　チャイルド社より発行
※令和７年７月　滋賀大会で宣伝・販売予定

２．調査研究の推進

令和７年度文部科学省委託研究の推進
「幼児教育の学び強化事業」
調査研究課題「子育ての支援や家庭等との連携強化に関する調査研究」
調査研究テーマ「幼児教育施設の機能を生かした預かり保育の在り方
－幼児教育の充実を目指す預かり保育のプログラム開発・実践－」

・研究の目的

幼稚園における預かり保育の実態について調査研究を行い、全国の幼稚園がどのような内容や方法で預かり保育を実践しているのか現状と課題を把握するとともに、子育ての支援や家庭等との連携強化に資することを目的とする。

3．研究紀要 74 号の企画・編集・発行

3,500 部発行　第 73 回全国幼児教育研究協会滋賀大会で配布

(1) 調査研究報告

「教育課題に関する調査研究」（令和 6 年度文部科学省委託研究の成果物より要約）

調査研究課題「幼児教育の学び強化事業」

「園と共に歩む幼児教育アドバイザーのための研修動画の作成」

(2) 令和 6 年度　全幼研ワクワクプロジェクト研修会　報告

(3) 支部研究情報　各支部の研究テーマ等の集約

広　報　部

1．「若竹」89 号発行

(1) 発行時期　令和 7 年 7 月

(2) 部　数　Ａ４版カラー　3,500 部（予定）

(3) 配　布　・第 73 回全国幼児教育研究大会滋賀大会で配布。会員・関係者には本部事務局より各支部長宛に送付後、支部長より会員・関係者に配布予定

(4) 内　容　・論説　「レジリエンスを育てる力(仮)」

執筆者　一般社団法人日本ポジティブ教育協会代表理事 足立　啓美　氏

・ズームイン　総会・研究会報告、監事紹介

・遊びのヒントあれこれ　千葉支部

・大会予告　第 74 回全国幼児教育研究大会群馬大会

・事業案内　地域活性事業　出前講演会 IN 佐賀

地域応援事業　群馬支部

2．「若竹」90 号発行

(1) 発行時期　令和 8 年 2 月

(2) 部　数　Ａ４版カラー　3,500 部（予定）

(3) 配　布　支部理事会参加者に配布。会員、関係者分は本部事務局より各支部長に送付し、支部長より配布予定

(4) 内　容　・論説　未定

・大会報告　第 73 回全国幼児教育研究大会滋賀大会

・事業報告　地域活性事業　出前講演会 IN 佐賀

地域応援事業　群馬支部

・支部だより　東海・北陸地区　静岡支部

・大会予告　第 74 回全国幼児教育研究大会群馬大会

3．ホームページについて

魅力ある広報誌を目指し、ホームページ担当者と連携を図り情報の収集や形式などの方法等を検討・改善していくとともに、各支部の活動内容を広く発信することで会員増加につなげる。

第４号議案　　令和７年度　収支予算の件

定款第 38 条の規定に基づき、令和 7 年度収支予算について以下のとおりとする

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

科　　目	当年度予算(A)	前年度予算(B)	増減 (A－B)
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	1,000	1,000	0
預金利息等	1,000	1,000	0
②特定資産運用益	0	0	0
預金利息等	0	0	0
③受取会費	9,890,000	11,204,000	△ 1,314,000
個人	6,060,000	6,394,000	△ 334,000
団体	3,000,000	3,980,000	△ 980,000
法人	830,000	830,000	0
④事業収益	9,600,000	9,827,000	△ 227,000
参加費収益	9,600,000	9,827,000	△ 227,000
協賛金収益	0	0	0
⑤受取寄附金	5,000,000	5,000,000	0
⑥雑収益	375,000	0	375,000
印税等	0	0	0
銀行預金等	375,000	0	375,000
経常収益計	24,866,000	26,032,000	△ 1,166,000
(2)経常費用			0
①事業費	23,135,000	19,455,200	3,679,800
給料手当	2,876,000	2,642,000	234,000
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	234,000	325,000	△ 91,000
旅費交通費	2,201,000	1,301,200	899,800
通信運搬費	2,197,000	2,079,000	118,000
減価償却費	0	0	0
消耗品費	1,270,000	2,261,000	△ 991,000
修繕費	0	0	0
印刷製本費	5,532,000	1,939,000	3,593,000
光熱水料費	124,000	124,000	0
会議費	580,000	104,000	476,000
賃借料	4,233,000	5,728,000	△ 1,495,000
渉外費	553,000	507,000	46,000
諸謝金	1,530,000	1,018,000	512,000
支払手数料	1,045,000	902,000	143,000
支払助成金	760,000	525,000	235,000
雑費	0	0	0

科　　目	当年度予算(A)	前年度予算(B)	増減 (A－B)
②管理費	5,604,000	5,082,000	522,000
役員報酬	720,000	720,000	0
給料手当	1,549,000	1,423,000	126,000
法定福利費	126,000	175,000	△ 49,000
会議費	180,000	160,000	20,000
法人理事会	50,000	30,000	20,000
運営委員会費	30,000	10,000	20,000
事務局会費	100,000	120,000	△ 20,000
旅費交通費	591,000	274,000	317,000
法人理事会	120,000	100,000	20,000
監事監査	12,000	10,000	2,000
運営委員会費	150,000	90,000	60,000
事務局会費	200,000	1,000	199,000
通勤交通費	109,000	73,000	36,000
通信運搬費	893,000	858,000	35,000
減価償却費	0	0	0
消耗品費	130,000	210,000	△ 80,000
修繕費	0	0	0
印刷製本費	61,000	61,000	0
光熱水料費	66,000	67,000	△ 1,000
賃借料	740,000	630,000	110,000
渉外費	18,000	25,000	△ 7,000
諸謝金	0	0	0
支払手数料	530,000	479,000	51,000
雑費	0	0	0
経常費用計	28,739,000	24,537,200	4,201,800
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,873,000	1,494,800	△ 5,367,800
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,873,000	1,494,800	△ 5,367,800
2. 経常外増減の部			0
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,873,000	1,494,800	△ 5,367,800
一般正味財産期首残高	9,548,109	10,223,329	△ 675,220
一般正味財産期末残高	5,675,109	9,548,109	△ 3,873,000
Ⅱ　指定正味財産増減の部			0
一般正味財産への振替額	0	△ 5,000,000	5,000,000
当期指定正味財産増減額	0	5,000,000	△ 5,000,000
指定正味財産期首残高	19,000,000	14,000,000	5,000,000
指定正味財産期末残高	19,000,000	19,000,000	0
Ⅲ　正味財産期末残高	24,675,109	28,548,109	△ 3,873,000

第５号議案　　定款の改定の件

定款第 13 条の規定に基づき、次の通り「定款」を変更する

本会では幼児教育だけでなく、乳児保育・教育にも取り組むようになり、『第２章 目的及び事業』に表記されている条文中の「幼児教育」という文言を「乳幼児教育」と変更する。